

第1学年 学級活動指導案

1 題材 すっきり せいとん

2 題材設定の理由

○題材観

持ち物の整理整とんをすることは、日常生活において必要不可欠なことである。持ち物を整える習慣付けを行うことは、心地よさを児童に感じさせ、見た目の美しさや使いやすさなどにも気付かせたり、より便利で快適な生活を行おうとする態度を身に付けさせたりすることができる。また、他人に頼るのではなく、自分のことは自分ですするという他律的な態度から自立的な態度へと誘う上でも大変重要なことである。

学校生活においては、引き出し・ロッカー・衣服などの整とんが挙げられるが、この中で、一番使用頻度が高いのは引き出しである。そこで、ここでは使いやすく見た目も整えられている引き出しの整理整とんの仕方を取り上げる。そして、乱雑になってから整えようとするのではなく、道具を使ったら直ちにその都度、決められたように片付けることの大切さを掴ませたい。そして、自分のめあてを明確にし、実践させ、習慣化を図りたい。

○児童観

学級の子どもたちは、明るく活発である。入学当初から喜んで登校し、学校が楽しいと感じている。学校生活のリズムにも慣れてきた。家庭での生活においては「よいこのくらし」カードの点検を保護者にお願いして取り組んできたが、点検項目を自分自身で気を付けて取り組む児童も見られてきた。

持ち物の整とんについては、登校後は決まった場所に道具をしまい、次の時間の準備は黒板に掲示した見本カードを見ながら準備する児童が多い。ところが、引き出しの中には、道具やプリント類が散在し、鉛筆・消しゴムなども所定の位置に置く児童がいる。週末の帰りの会での片付けタイムで一斉に整とんをしても、時間の経過とともに、整理された引き出しの中はまた乱れていく。

○指導観

指導にあたっては、1学期同様2学期も定期的な片付けタイムの実施、次の時間前に準備する道具の見本掲示をしていく。2学期の目標としては、自分の物の片付け方が分かり、使いやすく整とんできるようにしていきたい。

本題材では、導入で『ちょっと！ちょっとちょっと整とん大会』と称して引き出しを整とんさせる。事前にも帰りの会で行っているので、ほとんどの児童が（Aすっきり）か（Bなかなか）の状態に整とんできると思われる。次に、時間が経過して乱雑になっている引き出しの写真を提示し、本時の問題である整理整とんを行う上での継続の困難さについて気付かせたい。そこで、これまできれいにしたのに時間が経つとどうなってしまうかと投げかける。AがBになり、BがCになっていくことを振り返らせた上で、解決の糸口である“きれいにしておくにはどうすればいいか”につなげていきたい。そして、すっきり引き出しのよさを考えさせたり、使いやすさを保つために気を付けることについて話し合わせることで、「いつも」「使いやすく」の意識化を図りたい。終末段階では、頑張りカードを配布し、自分のめあて（作戦）を決定させた上で取り組ませたい。

3 指導計画

- 事前指導ー 帰りの会：「ちょっと！ちょっとちょっと整とん大会」の実施
 本 時ー 学級活動：すっきり せいとん
 事後指導ー 帰りの会：「いつもすっきり大作戦」カードによる振り返り

4 本時の目標

- (1) 引き出しをきれいにしておくための方法について考え、話し合うことができる。
- (2) これからの自分のめあてを決定し、きれいに整とんしようとする意欲をもつことができる。

5 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 ◆評価
1 「ちょっと！ちょっとちょっと整とん大会」をする。 ・ 5分間で自分の引き出しを整とんする。	○ “すっきり引き出し”の写真を提示し、それを目指して整とんさせるようにする。 ○ 整とんできたかどうかは自分で判断させ、できている児童には、すっきりシールを与える。
2 3つの引き出しの写真を見て、日頃の自分の引き出しの状態を振り返る。 Aすっきり Bなかなか Cモヤッと	○ 事前の片付けタイムの数日後に乱れてしまった引き出しの写真（Bなかなか・Cモヤッと）を掲示し、整とんしたすぐの写真を見比べさせ、気付いたことを発表させる。 ○ 自分の引き出しの状態について考えさせ、課題につなげる。
3 本時のめあてを知る。	いつも“すっきり引き出し”にしておくにはどうすればいいか
4 “すっきり引き出し”だと、どんないいことがあるか考える。 ・ 道具が出しやすい ・ 見た目がきれいで気持ちいい ・ 道具が汚れない	○ 使う時の違いを考えさせ、整とんされている場合の便利さやすっきりとした心地よさを気付かせる。
5 “すっきり引き出し”を続けるために気を付けることを話し合う。 ・ 決まった場所に置く ・ 使ったらすぐに元の場所にもどす ・ 筆箱の中をきれいにしておく ・ 決めた時間に整とんする	○ 片付けた後きれいな状態を長続きさせるには、どんな時にどういうことをすればいいかについて考えさせ、解決策を話し合わせる。 ○ 日頃からよく整とんされている児童数名を紹介し、気を付けていることを発表させる。 ◆ 自分が工夫したい整理の仕方を考え、話し合うことができたか。 (行動観察、発言内容)
6 整とん調査隊のスッキリン隊長の話聞き、きれいにしておくための作戦を考え、頑張りカードに自分のめあてを書く。	○ スッキリン隊長が毎日引き出し調査をすることを伝え、作戦を決めて実行していくようにする。 ○ 書けない児童へ具体的な行動を助言する。 ◆ 自分のめあてを決めて書くことができたか。 (行動観察、頑張りカード内容)
7 実践化への意欲をもつ。	○ これからの頑張りカードの取り組みを確認する。